

D301 11：30-12：40（発表7分 全体質疑30分）

一般演題① 座長 敦賀健吉（北海道大学病院）

佐藤義文（札幌溪仁会リハビリテーション病院）

11：30-11：40

O-01 意思決定支援における認知機能評価・前頭葉機能評価の有用性とリハビリテーションセラピストの役割

小坂部 圭二（勤医協中央病院）

11：40-11：50

O-02 自分らしさを最期まで保ち続けた患者・家族への関わりを通しての学び

須藤 利恵子（札幌清田病院）

11：50-12：00

O-03 肺癌患者の意思決定支援～排泄行動に対する思いに寄り添うことの難しさを体験して～

黒政 房子（吉田病院）

12：00-12：10

O-04 複雑な社会的背景や自律性を考慮し患者主体の意思決定支援を行った一例

渋谷 麻美（北海道大学病院）

12：10-12：20

O-05 終末期がん患者が取り組むアドバンス・ケア・プランニングに対する看護師の支援

栗村 めぐみ（アーク訪問看護ステーション）

D302 11：30-12：40（発表7分 全体質疑30分）

一般演題② 座長 前野宏（札幌南徳洲会病院）

部川玲子（北見赤十字病院）

11：30-11：40

O-06 在宅診療を受けている終末期患者の途中入院に関する実態調査

島田 啓志（国民健康保険由仁町立診療所）

11：40-11：50

O-07 終末期がん患者の下肢浮腫増強に伴う苦痛軽減に取り組み、症状緩和につながった一症例を振り返る

熊田 美香（緩和ケア訪問看護ステーション札幌）

11：50-12：00

O-08 市外への在宅療養移行のために地域との連携を強化した一例

須藤 祐子（北見赤十字病院）

12：00-12：10

O-09 小児がん患者の在宅緩和ケア診療の経験

山田 優里子（生涯医療クリニックさっぽろ）

12：10-12：20

O-10 在宅医療・在宅緩和ケアにおける多職種連携の質向上への取り組み～多職種アンケート調査の結果から～

飯田 智哉（札幌在宅クリニックそよ風）

D301 12：50-14：00（発表7分 全体質疑30分）

一般演題③ 座長 高田慎也（北海道がんセンター）

加藤晋一郎（斗南病院）

12：50-13：00

O-11 当院緩和ケア病棟におけるポリファーマシーの検討

小池 和彦（札幌清田病院）

13：00-13：10

O-12 当院における院内製剤レベチラセタム坐剤の使用状況調査

山本 国孝（札幌南徳洲会病院）

13：10-13：20

O-13 アナモレリン投与後の血糖変化をモニタリングし得た直腸癌患者の1例

萩原 綾希子（市立札幌病院）

13：20-13：30

O-14 当院におけるフェンタニル経皮吸収型製剤の適正使用について

横山 知佳（苫小牧市立病院）

13：30-13：40

O-15 よりよい在宅医療を提供するため、地域連携並びに現行医療制度の課題について考える

佐々木 剛（ナカジマ薬局 福住在宅調剤センター）

D302 12：50-14：10（発表7分 全体質疑30分）

一般演題④ 座長 小田浩之（釧路労災病院）

川村三希子（札幌市立大学）

12：50-13：00

O-16 リハビリ庭園面会の効果についての一考察～家族の視点から～

福森 望（公立甲賀病院）

13：00-13：10

O-17 COVID-19 が及ぼした面会制限における患者・家族への心理的影響～文献レビューから緩和ケアにおける今後の面会についての考察～

伊藤 由美（札幌清田病院）

13：10-13：20

O-18 緩和ケア病棟で経験したトルソー症候群の検討

西里 卓次（札幌清田病院）

13：20-13：30

O-19 原発巣からの出血が予後規定因子であった食道胃接合部癌の一例(終末期における輸血について)

岡村 直香（ホームケアクリニック札幌）

13：30-13：40

O-20 脳転移による認知機能低下・せん妄を生じた患者への緩和ケア病棟におけるケアの考察

部川 玲子（北見赤十字病院）

13：40-13：50

O-21 当院における緩和ケアチームの活動と今後の課題

藤村 真夕（北海道社会事業協会小樽病院）